

鎮魂と提言

東日本大震災

から1年

1年の時間を生かしたのだろうか。

2011年3月11日(金)14時46分——三陸沖を震源とした地震は巨大津波となって太平洋岸を襲い、川を上った。福島の原因も容赦せず、メルトダウンの危機を今ももたらしている。

11カ月後となる2月11日、深刻な被害を受けた町の一つ、岩手県大槌町の壊滅した町役場の前に立った。山となっていたがれきは片付けられていたが、激しい破損のままで残る町役場の前に、人の背丈ほどの石碑があることに気づいた。石碑には「昭和八年三月三日 大海嘯記念碑」と刻まれており、深夜2時半すぎに襲った昭和三陸地震津波を伝えている。碑文には、「一. 地震があったら津浪の用心をせよ。一. 津浪が来たら高いところへ逃げよ。一. 危険地帯に居住するな」とある。

便利さ故に海辺近くの平地に住んできた。21世紀の叡知で、この教えをどう生かすのか。そこで提言となる多様な考えを聞き、まとめた。「繰り返さないために、私たちは忘れない」。



【特集構成】

特別対談

国土学アナリスト・大石久和 × 元総務大臣・増田寛也

「国土学からとらえる復興の青写真」

10頁～

対談

ucodeユビキタス技術のリーダー・坂村健 × 東京都技監・村尾公一

「ucode 技術のインフラ活用で強靱かつユニバーサルな都市づくりへ」

13頁～

インタビュー

トヨタ常務役員・友山茂樹

「トヨタが描く次世代スマートグリッドへ一層アクセル加速」

16頁～

特別対談

みちのく震録伝・今村文彦 × 3D映像被災地記録・西山博一

「東北大アーカイブプロジェクト『みちのく震録伝』にNHK メディアテクノロジーが 3D 映像技術で協力」

19頁～

特別レポート

東京都が帰宅困難者の対策訓練

「大型ビジョン、ツイッター、エリアワンセグ、緊急速報メールなど情報活用を検証」

23頁

インタビュー

NHK理事・塚田祐之

「災害時に一層信頼される NHK を目指し、地域局の役割を強化」

24頁～

編集部レポート

日本ケーブルテレビ連盟

「ケーブルテレビ大震災の教訓と対策」

59頁～

編集部レポート

被災地での医療ICT事例

「無線生体・生活センサで仮設住宅の被災者を健康管理」

62頁